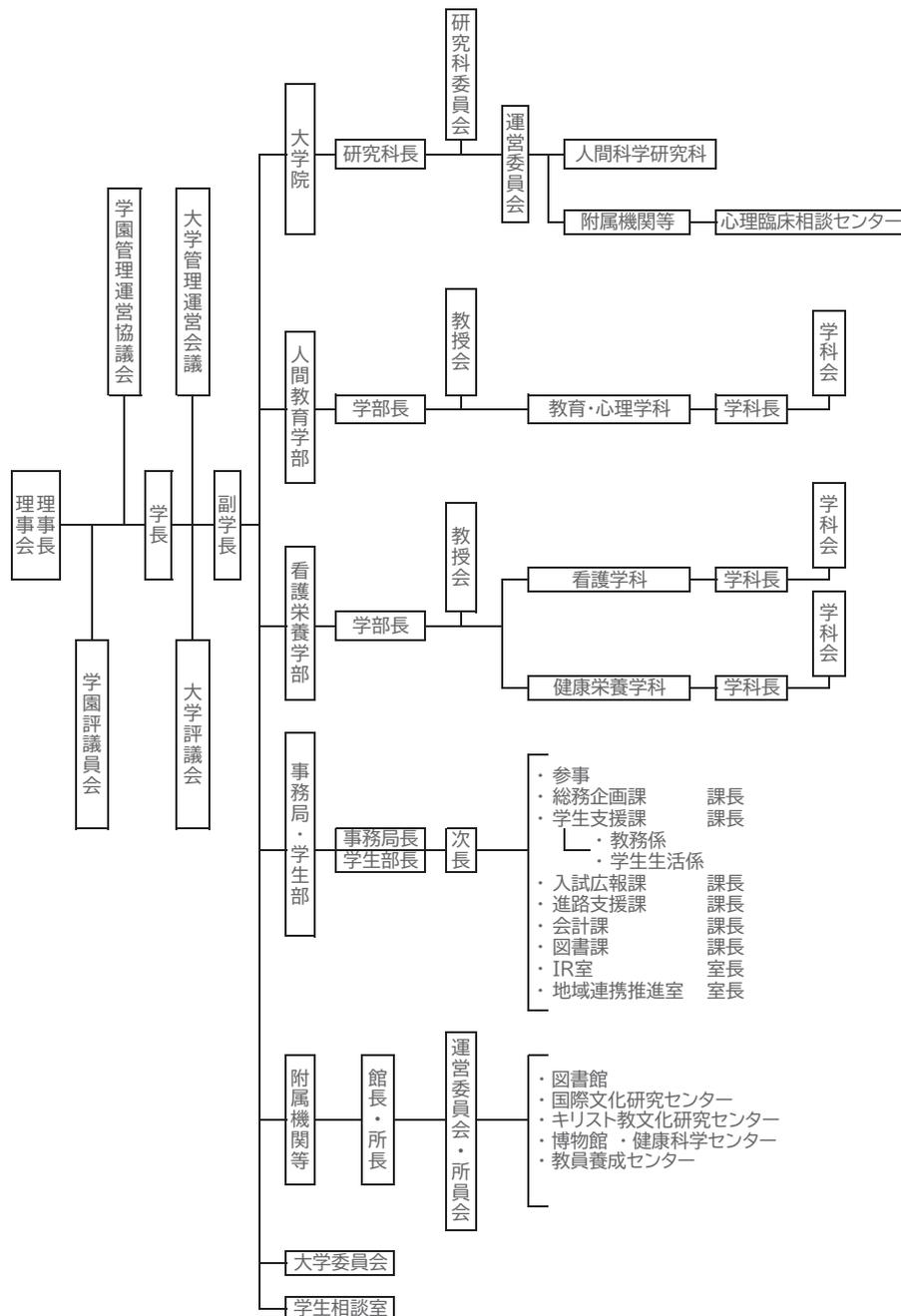


## （１）教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（令和 5 年 5 月 1 日現在）



注 1 教授会・・・学校教育法第 93 条で置くこととされている教授会は、大学院「研究科委員会」及び各学部「教授会」とする。

注 2 大学評議会・・・学則第 7 条で置かれる学長の諮問機関である。

## 各教員が有する学位及び業績（令和5年5月1日現在）

各学部・学科の専任教員についての情報を下記一覧の番号順に掲載 [次ページ参照]  
 ※大学院教員は兼任のため再掲を省略

### 人間教育学部

学科	番号	職名/職階	氏名
教育・心理学科	1	学長/教授	山口 明美
	2	副学長/教授	岡村 和信
	3	学部長兼学科長/教授	口岩 俊子 ※1
	4	児童生徒教育コース長/教授	釘田 雅司
	5	こども発達コース長/教授	洞田 勝博
	6	心理・文化専攻長/教授	久木田 英史
	7	教授	藤田 千鶴子※2
	8	教授	遠藤 武夫
	9	教授	川上 典子
	10	教授	小島 摩文
	11	教授	島 立久 ※3
	12	教授	仙波 玲子 ※4
	13	教授	広瀬 健一郎
	14	教授	幸 聖二郎
	15	教授	餅原 尚子
	16	准教授	石井 洋平
	17	准教授	井上 祐子
	18	准教授	加藤 理恵
	19	准教授	神丸 一祐
	20	准教授	川村 晃市
	21	准教授	栗原 真孝
	22	准教授	中村 誠文
	23	講師	ニコラス・ウォルターズ
	24	講師	寺田 将春
	25	講師	二瓶 正登
	26	助教	笹川 裕美
	27	助教	前田 真奈美
	28	助教	三間 美知太郎

※1：（兼）国際人間学部長

※2：（兼）大学院人間科学研究科長

※3：（兼）国際人間学部こども学科長

※4：（兼）国際人間学部ことばと文化学科長

※5：（兼）大学院専任教員

備考	国際人間学部ことばと文化学科及びこども学科については、平成31年3月31日に当該学部・学科に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
----	--

### 看護栄養学部

学科	番号	職名/職階	氏名
看護学科	1	学科長/教授	七川 正一
	2	教授	小楠 範子
	3	教授	園田 麻利子
	4	教授	田中 みゆき
	5	教授	福岡 美和
	6	准教授	塩満 芳子
	7	准教授	白水 美保
	8	准教授	福永 知久
	9	准教授	前原 宏美
	10	准教授	樺柑 富貴子
	11	准教授	柳園 順子
	12	講師	浅野 倫子
	13	講師	鞍掛 洋美
	14	講師	坂下 恵美子
	15	講師	永濱 佳織
	16	講師	萩原 久美子
	17	講師	山下 里奈
	18	助教	新福 絵里香
	19	助教	永井 寛子
	20	助教	福岡 真理
	21	助手	奥平 綾美
	22	助手	濱田 寿美
	23	助手	脇園 幸恵
健康栄養学科	1	学部長/教授	坂井 恵子
	2	学科長/教授	中野 隆之
	3	教授	岩田 真一 ※5
	4	教授	牧原 勝志
	5	教授	松元 圭太郎
	6	准教授	今村 佳代子
	7	准教授	川野 美智代
	8	准教授	木之下 道子
	9	准教授	山元 有子
	10	講師	寺師 美里
	11	講師	真邊 久美
	12	助教	久永 まゆみ
	13	助教	南 勇真
14	助手	岩元 幸奈	
15	助手	上原 友香里	
16	助手	中山 真琴	

教員情報

令和5年5月1日現在

山口 明美 (YAMAGUCHI Akemi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科
職名	教授 / 学長

【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	大妻女子大学大学院家政学研究科
主な担当科目	家庭科教育法、純心講座
専門分野	被服整理学 被服材料学
主な研究テーマ	中学・高等学校における家庭科教育のあり方 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討
学会・社会活動	日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本繊維製品消費科学会 生活やものづくりの学びネットワーク 開発教育協会 日本アクティブ・ラーニング学会
主な業績 (教育・研究等)	小学校家庭科における衣生活分野の取り組みについて 「生きる力」「人間力」を育むために 一 幼児の生活時間、乳幼児の関わり方から見えてくるもの— 家庭科の授業を担当できる小学校教員養成のあり方 九州地区の小学校教諭教職課程大学等の家庭科関連科目シラバス分析 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討 「小学校家庭科の授業をつくる—理論・実践と基礎知識」共著

## 教員情報

令和5年5月1日現在

岡村 和信 (OKAMURA Kazunobu)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科
職名	副学長 / 教授

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	ゴンザガ大学
主な担当科目	アメリカ文学、イギリス文学
専門分野	英米文学
主な研究テーマ	現代アメリカ文学
学会・社会活動	日本アメリカ文学会 九州アメリカ文学会
主な業績 (教育・研究等)	<i>The Theme of the Father-Daughter Relationship in "Daddy"</i> <i>Two Themes on "Lady Lazarus"</i> <i>The Themes of Love and Childbirth in the Work of Sylvia Plath</i>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

口岩 俊子 (KUCHIIWA Toshiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 国際人間学部長(兼)人間教育学部長(兼)教育・心理学科長

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	弘前大学大学院医学研究科博士課程
主な担当科目	〔学部〕 人体探検科学、小児保健 〔大学院〕 神経学特論
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa &amp; Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184.</li> <li>2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa &amp; Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34.</li> <li>3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407</li> <li>4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479</li> <li>5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日</li> </ol>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

<b>釘田 雅司 (KUGITA Masashi)</b>	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 児童生徒教育コース長

### 【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	上越教育大学大学院学校教育研究科
主な担当科目	特別支援教育概論 重複障害・LD等教育 特別支援教育課程論
専門分野	特別支援教育
主な研究テーマ	知的障害教育 特別支援学校教育課程 発達障害児への指導・支援
学会・社会活動	日本特殊教育学会 日本発達障害学会 薩摩川内市教育支援委員会会長 鹿児島県社会福祉協議会評議員
主な業績 (教育・研究等)	<p>鹿児島県立特別支援学校教員・校長, 鹿児島県教育庁特別支援教育室長等を経て現職</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウン症児の視覚-運動能力における形態の認知機能と構成機能 1991年 日本発達障害学会 発達障害学研究第13巻</li> <li>・特別支援教育推進のための鹿児島県総合教育センターの取組 2004年 上越教育大学障害児教育実践センター紀要第10号</li> <li>・知的障害のある子どもの視知覚-運動機能の協調性を育てる支援 2018年 鹿児島純心女子大学 こども学研究 こども発達臨床センター紀要第10号</li> <li>・自閉児の行動特性を活用し行動変容を図った指導事例 1994年 クロアール精神薄弱教育実践講座第2巻</li> <li>・障害児発達支援基礎用語事典 特別なニーズ教育に応えるためのキーワード110(共著) 2002年 川島書店</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

洞田 勝博 (HORATA Katsuhiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	工学修士
学位取得大学	広島大学大学院工業化学専攻科
主な担当科目	情報科学概論、基礎情報処理
専門分野	情報処理教育
主な研究テーマ	情報処理教育と専門教育との連携について 看護研究における動画の利用法
学会・社会活動	情報処理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業研究 『算数科教育法』の取り組みと課題 ～授業終了後のアンケート結果からの考察～</li><li>・Mahara とマルチメディアサーバ連携の試み</li><li>・動画を用いたピアノレッスンの実践</li><li>・グラフ的数列の帰納的構成とその数え上げ</li><li>・等差素数列について</li></ul> など

## 教員情報

令和5年5月1日現在

久木田 英史 (KUKITA Eishi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授 / 心理・文化専攻長

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	東京大学大学院人文社会系研究科
主な担当科目	フランス語、フランス文化論、フランス文学
専門分野	フランス文学・思想
主な研究テーマ	17世紀フランス科学思想史
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本フランス語フランス文学会</li><li>・薩摩川内市民まちづくり公社理事</li><li>・薩摩川内市社会教育委員</li></ul>
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・『フランス文化事典』(共著)丸善出版</li><li>・『デザルグの円錐曲線論とその歴史的意義』共立出版「数学文献を読む会」講演</li><li>・ Girard Desargues, maître de Pascal, <i>Revue de Langue et Littérature Françaises</i>, n° 49, Société de Langue et Littérature Française de l'Université de Tokyo</li><li>・ Théorie des coniques selon l'involution chez Desargues, 『国際人間学部紀要第24号』鹿児島純心女子大学</li><li>・ Représentation de la Géométrie non-euclidienne par un Modèle hémisphérique, 『国際人間学部紀要第25号』鹿児島純心女子大学</li></ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

藤田 千鶴子 (FUJITA Chizuko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	教授 / 人間科学研究科長

### 【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	カナダ・アルバータ大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 知的障害のあるこどものカウンセリング 〔大学院〕 臨床心理面接特論
専門分野	臨床教育学 研究方法論
主な研究テーマ	質的研究方法論、「物語る」ことの認識論的系譜 心理臨床学における現象学的アプローチの可能性
学会・社会活動	日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本保育学会 スクール・カウンセラー
主な業績 (教育・研究等)	「保育者の気づき」 「保育心理学 II」第2部第5章 東京書籍 「『みる』」ことから始めるこども学—こども支援の基礎的体験学習」全国保育士養成協議会第45回研究大会論文集 「学校臨床再考—量的研究・質的研究・臨床現場、それぞれの知見から—」日本心理臨床学会第29回秋季大会自主シンポジウム 「『連携』と『協同』の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 「心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献の可能性—個別性と普遍性に着目して—」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号

## 教員情報

令和5年5月1日現在

遠藤 武夫 ( ENDO Takeo )	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	兵庫教育大学大学院
主な担当科目	音楽科教育法 音楽概論 音楽Ⅰ～Ⅳ 保育実技特講Ⅰ
専門分野	音楽科教育
主な研究テーマ	伝統音楽の教材化 歌唱指導 リコーダー指導 吹奏楽指導
学会・社会活動	日本教科教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>&lt;教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島県公立小学校・中学校・高等学校(教諭)</li> <li>・ 鹿児島県教育庁学校教育課指導主事</li> <li>・ 鹿児島県公立高等学校(教頭、校長)</li> <li>・ 第10回及び第11回全日本小学校バンドフェスティバル出場 (鹿児島大学教育学部附属小学校吹奏楽部)</li> <li>・ 第63回九州合唱コンクール 金賞 (鹿児島県立鶴丸高等学校音楽部)</li> <li>・ 第1回及び第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 銅賞 (鹿児島県立鶴丸高等学校音楽部)</li> </ul> <p>&lt;研究&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「日本音楽と音楽科教育 ～小・中学校における学習内容の体系化～」 1990年 兵庫教育大学教科領域教育専攻芸術系コース修士論文</li> <li>・ 「日本音楽と音楽科教育」 1990年 音楽之友社 季刊音楽教育研究 秋 65</li> <li>・ 「音楽をつくって表現する学習の展開 ～おもいを重視して～」 1991年 広島大学附属小学校学校教育研究会 学校教育9 NO.890</li> <li>・ 「伝統音楽の教材化の可能性」(共著) 1999年 兵庫教育大学研究集録第18巻 第2分冊</li> <li>・ 「学校音楽におけるポピュラー音楽の有用性について」 2000年 兵庫教育大学芸術教育研究誌 教育と芸術</li> <li>・ 「日本の感性を育む系統的な伝統音楽の学習」 2004年 CD-ROM版 音楽科教育実践講座(山本文茂監修)</li> <li>・ 「純正な和音の響きを作る能力を育成するリコーダー学習 ～小学校音楽における指導内容・方法」 2019年 日本教科教育学会誌 第42巻 第3号</li> <li>・ 校歌考「消える校歌 生まれる校歌」(共著) 2020年 南方新社 新薩摩学14 古閑章・栗原真孝編 P82～P108</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

川上 典子 (KAWAKAMI Noriko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	MA
学位取得大学	Reading University
主な担当科目	英語科教育法、児童英語、児童英語演習、異文化コミュニケーション論
専門分野	英語教育、応用言語学
主な研究テーマ	小学校英語活動、英語教育における小中連携、教員研修
学会・社会活動	大学英語教育学会 (JACET) 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 小学校英語教育学会 (JES) 全国英語教育学会
主な業績 (教育・研究等)	[著書] 共著「中学校英語の運用力をつける授業づくり&指導のツボ」2012, 明治図書 共著「21世紀の英語科教育」2007, 開隆堂  [論文] 単著「中学校英語教科書に見る小中連携」 鹿児島純心女子大学紀要第28号, 2022 単著「英語教育のコア・カリキュラム(試案)の汎用性の検証へ向けて」 鹿児島純心女子大学紀要第23号, 2017 単著「小学校英語の教科化に向けて: 研究開発校の指導体制の再考」 鹿児島純心女子大学紀要第21号, 2015 単著「英語教育における小中連携: 文字指導のあり方」 鹿児島純心女子大学紀要第20号, 2014

## 教員情報

令和5年5月1日現在

小島 摩文 (KOJIMA Mabumi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 博物館長

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 民俗学、こども文化概論、博物館情報・メディア論 〔大学院〕 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民俗学会会員、日本民具学会会員、日本文化人類学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会副会長、比較民俗学会会員 日本生活科・総合的学習教育学会
主な業績 (教育・研究等)	「馬」『図録 メコンの世界 -歴史と生態-』秋道智彌編 弘文堂 2007 「塩と茶の交易史」(共著)『地域の生態史 [モンスーンアジアの生態史第2巻]』 ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂 (2008/5/16) 「在宅と外在化」『死の儀法 -在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編ミネルバ書房 2008 04 「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2013 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2015 「馬具の種類と名称について -データベース化のための標準名を考える-」『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015

## 教員情報

令和5年5月1日現在

島 立久 (SHIMA Tatsuhisa)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学教育学部
主な担当科目	算数科教育法、教職論
専門分野	教職課程(小学校)
主な研究テーマ	小学校算数科授業づくり
学会・社会活動	日本数学教育学会・薩摩川内市外部評価委員会
主な業績 (教育・研究等)	<p>鹿児島県公立小学校教員・校長, 鹿児島県数学教育研究会副会長・小学校部会長を経て現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「算数科授業のすすめ・問い続ける子どもたち(第3学年)」 ～かけ算のひっ算 算数授業研究会 東洋館出版</li> <li>・「算数科授業のすすめ・このアイデアが子どもを動かす(第5学年)」 ～分数 算数授業研究会 東洋館出版</li> <li>・「子どもの考えのまとめ方・発展のさせ方のアイデア」 ～導入時における子供のアイデアと教師の働きかけ 明治図書</li> <li>・自立・創造・責任による信頼される学校づくりのあり方～研究開発学校としての特色ある学校づくり 九州地区小学校校長協佐賀大会要録</li> <li>・「深い学び」の実現に向けた授業づくり 鹿児島県小学校教育研究会算数研究第56号</li> <li>・「算数科教育法」の実践と課題について 共著 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報創刊号</li> <li>・「カリキュラム・マネジメントへの『かかわり』」 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報創刊号</li> <li>・「総合的な学習の時間の単元構想」 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報第2・3合併号</li> <li>・「複式学級における同単元で行う算数科授業の提案」 共著 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センターこども学研究9号</li> <li>・「教材との対話～ちょっとひと工夫」 鹿児島市算数部会算数だより第64号</li> </ul>

教員情報

令和5年5月1日現在

仙波 玲子 (SEMBA Reiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	名古屋大学文学研究科博士後期課程
主な担当科目	ドイツ語、ドイツ文学、ドイツ文化論
専門分野	ドイツ文学・文化史
主な研究テーマ	世紀転換期ウィーンにおける日本 メルヘンの日本における受容
学会・社会活動	2015～ 鹿児島県育英財団評議員 2017～ 薩摩川内市行政改革推進委員会委員 2020～ 鹿児島地方労働審議会委員 2021～ 日本独文学会西日本支部経理委員
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <i>Das Erzählverfahren im Prosawerk von Ingeborg Bachmann – Die Gewinnung von verlorener Sprache</i> – In: H. Scholz (Hrsg.): <i>Undine geht nach Japan. Zu interkulturellen Problemen der Ingeborg Bachmann-Rezeption in Japan</i>. trafo verlag 2001. S.105-121.</li> <li>2. 「文学に見るオーストリア・ケルンテン州—境界と向き合う周縁性—」鹿児島純心女子大学国際文化研究センター編『新薩摩学 風土と人間』南方新社 2003 187～219頁</li> <li>3. 「ペーター・アルテンベルク—世紀末ウィーンのカフェ文士」仙波玲子編『新薩摩学 知られざる近代の諸相 変革期の人々』南方新社 2013 227～265頁</li> <li>4. 「川内の僧侶 菅了法とグリム童話」古閑章・仙波玲子編『新薩摩学 もっと知りたい鹿児島』南方新社 2014 131～151頁</li> <li>5. 「川内からグリムのメルヘンを思う」古閑章編『新薩摩学 旅する世界』南方新社 2018 73～88頁</li> </ol>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

広瀬 健一郎 (HIROSE Ken' ichiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	北海道大学大学院教育学研究科博士課程
主な担当科目	子育ての原理、保育内容総論、教育実習（幼稚園）
専門分野	教育学（教育史・比較教育・教育実践論）
主な研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代カナダ先住民族教育史</li> <li>・保育者養成実践研究</li> <li>・授業における「対話」に関する研究</li> </ul>
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダ教育学会理事</li> <li>・日本カナダ学会理事</li> <li>・日本教育学会会員</li> <li>・日本保育学会会員</li> </ul>
主な業績 （教育・研究等）	<p>（共著）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先住民教育の現在—教育の自治を求めて」、飯野正子・竹中豊監修、日本カナダ学会編『現代カナダを知るための60章』、明石書店、2021年。</li> <li>・「学力保障と伝統文化の継承は両立できるか—奄美群島の挑戦」、古閑章編『新薩摩学15 学問のエッジを極める』、南方新社、2020年。</li> <li>・「先住民の自治—「主権」の喪失と回復追求の近現代史」、細川道久編『カナダの歴史を知る50章』、明石書店、2017年。</li> <li>・「先住民族研究から見える奄美研究の可能性—「新薩摩学」と「奄美学」の知的融合に向けて—」、仙波玲子・古閑章編『新薩摩学10 もっと知りたい鹿児島』、南方新社、2014年。</li> <li>・「カナダにおける先住民族教育システム構築のための論理と戦略—日本への示唆を求めて」、日本社会教育学会編『アイヌ民族・先住民族教育の現在』、東洋館出版社、2014年。</li> <li>・「戦後カナダの先住民族に対する経済開発政策と教育—1946-1969」、岸上伸啓編『北アメリカ先住民の社会経済開発』、明石書店、2008年。</li> <li>・『東京イチャルパへの道—明治初期のアイヌ教育をめぐって』（長谷川修、狩野雄一との共著）、現代企画、2008年。</li> <li>・岡本菟子編『つくってさわって感じて楽しい 実習に役立つ表現遊び②』、北大路書房、2007年。</li> <li>・関口礼子・浪田克之介編『多様社会カナダの「国語」教育』、東信堂、2006年。</li> <li>・小林順子ほか編『21世紀にはばたくカナダの教育』、東信堂、2003年。</li> </ul>

教員情報

令和5年5月1日現在

幸 聖二郎 (MIYUKI Seijiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	兵庫教育大学大学院
主な担当科目	国語科教育法 こども文学 日本文学
専門分野	国語科教育学
主な研究テーマ	小学校国語科における音声言語の指導に関する研究
学会・社会活動	全国大学国語教育学会 日本国語教育学会 日本カトリック教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>「総合的な学習の時間」と「国語科」との両輪でことばの力をつける (第114回全国大学国語教育学会茨城大会・2008年6月1日)</p> <p>「声を届ける」活動から「討論する」活動へ ～入門期の「話すこと指導」の試み～ (日本国語教育学会主催第72回国語教育全国大会・2009年8月4日)</p> <p>「宗教の授業」と「道徳の授業」の積極的な交流を (カトリック教育研究第26号・2009年8月31日)</p> <p>子どもが本好きになる読書単元の指導 ～1年「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の実践を通して～ (月刊国語教育研究第469号・2011年5月10日)</p> <p>「人格教育」に向けての提言～カトリック系小学校の現場から～ (カトリック教育研究第32号・2015年8月31日)</p> <p>積極的な生徒指導を進めるための特別活動の在り方 ～学級活動にソーシャルキルトレーニングを取り入れることの意義～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要第8号・2016年3月4日)</p> <p>小・中学校における特別活動の意義と内容及び展開の仕方 (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第2号・2016年8月31日)</p> <p>小・中学校における特別活動の意義と内容及び展開の仕方Ⅱ ～本学における「特別活動の研究」での取組を通して～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第3号・2017年2月25日)</p> <p>金子みすゞの詩にみる宗教性～みすゞを育てたふるさと「仙崎」～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第4号・2017年9月30日)</p> <p>日本の児童文学に影響を与えたあまんきみこの作品分析 ～小学校教材「ちいちゃんのかげおくり」に着目して～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第7号・2020年3月5日)</p> <p>あまんきみこにとっての「満州」とその作品に関する一考察 ～「雲」の作品分析を中心に～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第8号・2021年3月1日)</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

餅原 尚子 (MOCHIHARA Takako)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 大学院心理臨床相談センター長

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院人文科学研究科(心理学)
主な担当科目	〔学部〕 臨床心理学概論等 〔大学院〕 臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習等
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ(PTSD、CIS)、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の臨床心理査定、臨床心理面接に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など <社会的活動> 鹿児島労働局発達障害者専門指導監/ 鹿児島県教育支援委員会委員/鹿児島県社会福祉審議会委員/ 公益社団法人かごしま犯罪被害者支援センター理事長 など
主な業績 (教育・研究等)	<学術論文> ・性的虐待(レイプ、セクハラ・ストーカー)により、PTSD症状を呈した2症例のロールシャッハ反応(査読付 2001) ロールシャッハ研究第5巻(日本ロールシャッハ学会) p53~66 ・性犯罪被害によるPTSDの事例へのカウンセリング~信頼の絆が結ばれるまで~(査読付 2003) カウンセリング研究、第36巻、(日本カウンセリング学会) p437~445 ・救援者のストレス(PTSD、CIS)の予防とケアに関する臨床心理学的研究(2005) 平成15~17年度科学研究費補助金(若手研究B)報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程~発達の變化に視点をあてて~(2008) 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第3号 P19~26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せたPTSDの2事例(査読付 2015) ロールシャッハ研究第19巻(日本ロールシャッハ学会) p1~10 他 <著書(共著)> ・臨床心理学辞典(恩田彰・伊藤隆二編)(1999)八千代出版 ・最新・心理学序説(本明寛監修)(2002)金子書房 ・新臨床心理学(橋口英俊・滝口俊子編著)(2004)八千代出版 ・臨床心理学(久留一郎・餅原尚子著)(2019) —「生きる意味」の確立と心理支援— 八千代出版 など <外部資金> ・2003年~2005年(科学研究費)、2005年~2007年(学術研究振興資金)、2008年~2022年(科学研究費) KAKEN: <a href="http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html">http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html</a>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

石井 洋平 (ISHII Youhei)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	久留米大学大学院
主な担当科目	(学部) 心理学的支援法、神経・生理心理学など (大学院) 心の健康教育に関する理論と実践、臨床心理基礎実習など
専門分野	精神生理学、臨床心理学
主な研究テーマ	統合失調症患者の認知機能について
学会・社会活動	日本臨床神経生理学学会、日本精神神経学会、日本神経科学会、日本心理臨床学会、九州精神神経学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近赤外線スペクトロスコープとアイマークを用いた統合失調症者の情動関連血流変動の特性-健常者との比較検討-. 臨床神経生理学, 18巻1号, 2008 (共著)</li> <li>● Effects of emotionally charged sounds in schizophrenic patients using exploratory eye movements: comparison with healthy subjects. Psychiatry and clinical neurosciences, Vol. 64, 2010 (共著)</li> <li>● Left eye scanning deficit in schizophrenia patients under emotional loading task: comparison with healthy controls. Kurume medical journal, Vol. 59, No. 1-2, 2012 (共著)</li> <li>● しりとり課題を用いた単一事象関連デザインによるNIRS計測 (Kurume Single Event Related Design: K-SERD) の試み: 健常者と統合失調症患者との比較検討. 臨床神経生理学, 47巻3号, 2019 (共著)</li> <li>● The changes in concentration of cerebral oxygenated hemoglobin during single event-related Japanese Shiritori task in patients with major depression disorder: comparison with healthy subjects. Frontiers in Psychiatry, Vol. 12, 2021 (共著)</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

井上 祐子 (INOUE Yuko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（社会福祉学）
学位取得大学	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程
主な担当科目	〔学部〕 保育実習、保育実践演習、保育内容（人間関係）の理論と方法 〔大学院〕 福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論、社会福祉教育・実習、高齢者福祉、児童福祉
主な研究テーマ	福祉人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	〔学会〕 日本社会福祉学会、日本社会福祉士会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会 〔社会活動〕 社会福祉法人隈之城福祉協会評議員、薩摩川内市行政改革推進委員会委員
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「職業人としての基礎能力の育成におけるコンピテンシー測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・姜民護・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』27、2021、pp. 25-51.</li> <li>・ 「2017年告示保育所保育指針からみる乳児保育における愛着形成に関する支援」井上祐子『鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要』15、2020、pp. 25-33.</li> <li>・ 「2017年告示保育所保育指針における保育内容5領域の変遷の背景と方向性」井上祐子『鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要』26、2020、pp. 3-21.</li> <li>・ 「保育内容に関する保育者のコンピテンシーの研究動向と課題」井上祐子・姜民護・高橋順一・黒木保博『鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要』26、2020、pp. 23-37.</li> <li>・ 「保育者効力感測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp. 1-29.</li> <li>・ 「保育者のケアリング測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp. 31-47.</li> <li>・ 「保育者効力感に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp. 47-62.</li> <li>・ 「Deci理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」井上祐子・黒木保博『社会福祉学』51(4)、2011、pp. 91-103.</li> <li>・ 「高齢者福祉施設生活相談員が必要と認知する対人福祉サービスの構造化」井上祐子『評論・社会科学』93、2010、pp. 67-80.</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

加藤 理恵 (KATOH Rie)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	准教授 / キリスト教文化研究センター副所長

### 【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程
主な担当科目	現代日本語研究、対照言語学、日本語教授法
専門分野	日本語学・日本語教育
主な研究テーマ	意味論・日本語教育
学会・社会活動	日本語教育学会・日本語文法学会・日本認知言語学会
主な業績 (教育・研究等)	加藤理恵 (2016) 「地域日本語教室での文字学習支援の必要性——2014 年度日本語教育実習報告書の分析から——」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』22, 19-26. 加藤理恵 (2013) 「日本語話者の作文を提示した上級日本語学習者の作文へのフィードバックの検討」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』19, 67-75. 加藤理恵 (2011) 「学部生による日本語教育実習での学びの過程」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』17, 59-76.

## 教員情報

令和5年5月1日現在

神丸 一祐 (KAMIMARU Kazuhiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	体育学士
学位取得大学	筑波大学体育専門学群
主な担当科目	健康スポーツ、健康科学 体育科教育法 保育内容(健康)・(表現)
専門分野	体育学(生理学・バスケットボール)
主な研究テーマ	・バスケットボール方法論 ・小学校における体育授業の指導法
学会・社会活動	学会： 九州体育・スポーツ学会(兼日本体育学会九州支部) 社会活動： 鹿児島県バスケットボール協会 審判委員長補佐
主な業績 (教育・研究等)	『バスケットボール競技審判の運動強度と運動効果』 『体づくり運動としてのコーディネーショントレーニング』 『小学校体育における児童の学習支援方法としての教材に関する検討』

教員情報

令和5年5月1日現在

川村 晃市 (KAWAMURA Koichi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	博士(学術)
学位取得大学	神戸大学
主な担当科目	英語科教育法、英語表現法、英語演習、英語 I
専門分野	応用言語学、教育工学
主な研究テーマ	第二言語習得
学会・社会活動	日本教育工学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>学術論文 査読あり</p> <p>Kawamura, K., Kashiwagi, H. &amp; Kang, M. (2018). Developing an approach toward automatic error detection in learners' English writing based on the source language. <i>International Journal on Advances in Intelligent Systems</i>, vol.11 nr 3&amp;4, pp.202-211.</p> <p>Kawamura, K., Kashiwagi, H. &amp; Kang, M. (2017). An approach toward automatic error detection in learners' English writing based on the source language. <i>Proceedings of The Tenth International Conference on Mobile, Hybrid, and On-line Learning, eLmL 2018</i>, pp. 62-65. (Best Paper Award)</p> <p>川村晃市 (2017) . 「構文解析器を利用した主語・述語抽出の検討」. 『国際文化学』 (神戸大学) , 31, pp. 51-64.</p> <p>Kawamura, K., Kashiwagi, H. &amp; Kang, M. (2017). An Approach of Semi-Automatic Correction Feedback for Learners' English Writing Using the Source Language. <i>Proceedings of Symposium on Language and Sustainability in Asia</i>, pp. 17-22.</p> <p>賞罰</p> <p>2018年3月 eLmL2018 Best Paper Award を受賞</p> <p>2021年9月 ラーニングイノベーショングランプリ 2021 優秀ラーニングイノベーション賞を受賞</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

栗原 真孝 (KURIHARA Masataka)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	修士(教育学)
学位取得大学	早稲田大学大学院博士後期課程(単位取得満期退学)
主な担当科目	教育原理、現代社会とこどもの権利
専門分野	教育行政学、教育学、外国籍児童生徒の教育
主な研究テーマ	地方教育行政に関する研究 地方行政に関する研究 外国籍児童生徒を対象とする教育政策に関する研究 アメリカにおける移民の教育に関する研究
学会・社会活動	日本教育行政学会、関東教育学会、日本比較教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人口減少社会における地方行政の現在—鹿児島県の新総合体育館建設の議論を中心として—」『新薩摩学 15』南方新社、2020年、345-362頁。</li> <li>・『新薩摩学 14 人口減少社会・鹿児島の教育のゆくえ』、南方新社、2020年。(共編著)</li> <li>・「鹿児島県における戦後教育改革の受容」『新薩摩学 13』、南方新社、2018年、147-163頁。</li> <li>・「日本における教育課程改革の動向—学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂を中心にして—」『こども学研究』(鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要)、第9号、2017年、55-62頁。</li> <li>・「いのち・栄養・学校教育の諸問題—世界の子どもたちの「いま」について考える—」『新薩摩学 12』、南方新社、2016年、195-205頁。</li> <li>・「ニューヨーク市における英語能力が十分ではない児童生徒の実態—日本の外国籍児童生徒の教育への示唆—」『こども学研究』(鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要)、第8号、2016年、55-62頁。</li> <li>・「市町村長による県立高校教育政策への関与の実態—鹿児島県を事例として—」鹿児島純心女子大学国際人間学部編『国際人間学部紀要』第22号、2016年、67-83頁。</li> <li>・「日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の実施状況」『比較教育学研究』第50号、2015年、3-23頁。</li> <li>・「異文化のなかの子ども・青年と教育行政 異文化にどう向き合うか」小松茂久編『教育行政学—教育ガバナンスの未来図』昭和堂、2013年、155-171頁。</li> <li>・「外国人の子どもの不就学問題に関する地方教育行政の可能性と限界」『関東教育学会紀要』第38号、2011年、27-38頁。</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

中村 誠文 (NAKAMURA Masafumi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	心理臨床学修士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 公認心理師の職責、社会・集団・家族心理学 〔大学院〕 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と方法
専門分野	臨床心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 (共著)</li> <li>・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に着目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 (共著)</li> <li>・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号</li> <li>・拘束と記述から得られるもの—ベイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1 (共著)</li> <li>・障害児支援の変遷と今後の可能性について—「連携」に視点をあてて— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第11号</li> <li>・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する一考察 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号</li> </ul> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">など</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

ニコラス ウォルターズ (NICHOLAS Walters)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	MA in TESOL
学位取得大学	University of Edinburgh
主な担当科目	リーディング、ライティング、イギリス史
専門分野	イギリス史、英語教育
主な研究テーマ	イギリス史、英語教育
学会・社会活動	Cambridge Exams Speaking Examiner Trainer
主な業績 (教育・研究等)	<i>Jane Austen's Pride and Prejudice</i> The use of Mystery Television Programmes in the EFL classroom Britain in the 1960s A Report on the Preparation of Resources for a History Course for EFL University Students An Investigation into Different Theories and Methodologies Related to The Teaching of English as a Foreign/Second Language Preparing a Course of Study for Elementary School Students Part 1: A Summary of the Relevant Literature Part 2: A Discussion of Issues Relating to Curriculum and Syllabus Design

## 教員情報

令和5年5月1日現在

寺田 将春 (TERADA Masaharu)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース （兼）学園本部事務職員
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	水産学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院水産学研究科
主な担当科目	基礎情報処理、マルチメディア演習
専門分野	教育工学
主な研究テーマ	LMSによる学習分析
学会・社会活動	日本 Moodle 協会 学習分析学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>&lt;学位論文&gt; 三級海技士国家試験対策 e-learning システムの構築, 鹿児島大学</p> <p>&lt;論文&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短期大学におけるイントラネットポータルサイト構築と運用, 鹿児島純心女子短期大学研究紀要, 第46号, pp.105-112</li> <li>2. 短期大学における Moodle の管理と運用-学生支援・教育支援サイト-, 鹿児島純心女子短期大学研究紀要, 第45号, pp.115-126</li> <li>3. 仮想化基盤を利用した Moodle の構築とバージョンアップに伴う運用業務の軽減, 大学 ICT 推進協議会 2014 年年次大会論文集, W3F-2</li> <li>4. 短大生を取り巻く IT 環境の変化と Moodle のバージョンアップ, 2013 九州 PC カンファレンス 論文集, pp.27-30</li> <li>5. 鹿児島大学における大学連携事業での ICT 活用教育の試み, 教育システム情報学会研究報告, vol.25, no.3 pp.31-34</li> </ol> <p style="text-align: right;">など</p> <p>&lt;口述発表&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Moodle における全開講科目での授業アンケートの実施, MoodleMoot Japan 2020</li> <li>2. Moodle における様々なアクセス解析の手法, MoodleMoot Japan 2017</li> <li>3. Mnet によるイントラポータルサイトの構築, MoodleMoot Japan 2016</li> <li>4. DB の Forum 連携機能開発と海技士試験対策への応用, MoodleMoot Japan 2013</li> </ol> <p style="text-align: right;">など</p> <p>&lt;賞与&gt; ベストモデルイノベーション賞 最優秀賞, MoodleMoot Japan 2011</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

二瓶 正登 (NIHEI Masato)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（心理学）
学位取得大学	専修大学大学院
主な担当科目	（学部）心理学概論、基礎心理学など （大学院）心理統計法特論、臨床心理学研究法特論
専門分野	学習心理学
主な研究テーマ	古典的条件づけにおける数理モデルの構築
学会・社会活動	日本心理学会、日本認知・行動療法学会、日本行動分析学会、日本不安症学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>&lt;論文&gt;</p> <p>A model for recovery-from-extinction effects in Pavlovian conditioning and exposure therapy, <i>Learning and Behavior</i>, 2023</p> <p>The renewal effect in fear conditioning with aversive facial expression and negative sentences as unconditioned stimuli, <i>Learning &amp; Motivation</i>, 74, 2021</p> <p>ABA, ABC, and AAB renewal in fear conditioning using social stimuli and its quantitative description, <i>PsyArXiv</i>, 2021</p> <p>ベイズ統計の心身医学領域における具体的活用法ーベイズ統計を用いることの利点は何か？, <i>心身医学</i>, 61, 2021</p> <p>不安と関連する障害における古典的条件づけの役割と意義ー古典的条件づけの諸現象と連合学習理論の臨床的応用ー, <i>不安症研究</i>, 11, 2019</p> <p>Fear of Negative Evaluation Scale 日本語短縮版の因子構造, 信頼性および妥当性の再検討, <i>不安症研究</i>, 10, 2018</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

笹川 裕美 (SASAGAWA Hiromi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等 (英語) 教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	修士 (心理臨床学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 福祉心理学、心理学的支援法 等 〔大学院〕 臨床心理基礎実習
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	DV 被害者及び同伴児への支援に関する研究
学会・社会活動	〔学会〕 日本心理臨床学会 〔社会活動〕 鹿児島市ゲートキーパー養成講座 講師 鹿児島市デートDV講演会 講師
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「祖母の子育て参加における子育ての捉えなおしに関する臨床心理学的研究」 鹿児島純心女子大学大学院修士論文 (2010.3月)</li><li>・「不登校状態を呈する男児の遊戯療法ー自己誇示に焦点をあててー」 鹿児島純心女子大学大学院心理臨床相談センター紀要第5号</li></ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

前田 真奈美 (MAEDA Manami)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院教育学研究科
主な担当科目	乳児保育Ⅰ・Ⅱ 子ども家庭支援の心理学
専門分野	保育学 幼児教育
主な研究テーマ	ことばの指導 特別な配慮が必要な子どもへの支援
学会・社会活動	日本発達障害学会
主な業績 (教育・研究等)	自閉スペクトラム症児の構音指導—視覚-聴覚マッチングの導入効果—, 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要, 第31巻, pp.84-93

## 教員情報

令和5年5月1日現在

三間 美知太郎 (MIMA Michitaro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	修士(国際文化学)
学位取得大学	東北大学大学院国際文化研究科
主な担当科目	英文法、アメリカ文化論
専門分野	アメリカ大衆文化史
主な研究テーマ	カントリー・ミュージック史
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・アメリカ学会</li><li>・中・四国アメリカ学会</li><li>・民族芸術学会</li><li>・英米文化学会</li></ul>
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「『ナショナル・バーン・ダンス』にみる「白人音楽」成立過程」『民族芸術学会誌 arts/』vol.38</li></ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

七川 正一 (NANAKAWA Shoichi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科
主な担当科目	看護研究法、生活再構築援助論（病態編）、看護探検
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	デジタル動画を用いた救急蘇生法に関する教材の作成と評価 救急蘇生法に関する教育効果の検討
学会・社会活動	日本看護研究学会 日本救急医学会九州地方会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017</li> <li>2) 高速船旅客集団事故対策訓練に負傷者役で参加した学生の学びに関する報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 19 巻, 37-42, 2015</li> <li>3) 2011 年保健師助産師看護師養成所指定規則が改正に伴う教育課程の概要 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 17 巻, 1-9, 2013</li> <li>4) ACLS 対応のステップアップ学習 4 年目の学習プログラムの概要ならびに 成果報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 15 巻, 95-102, 2011</li> <li>5) 【症例とチャートでよくわかる呼吸器のフィジカルアセスメント】 無気肺 を防ぐためのアセスメント 呼吸器ケア 4 巻 5 号, 538-543, 2006</li> </ol>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

<b>小楠 範子 (OGUSU Noriko)</b>	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学博士
学位取得大学	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程
主な担当科目	建学の精神と看護、老年看護学概論
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	高齢者の終末ケア
学会・社会活動	2008, 9～ 薩摩川内市社会福祉協議会評議員 2009, 4～ 日本養護教諭養成大学協議会評議員 2009, 4～ 日本老年社会科学会「老年社会科学」査読委員 2012, 10～ 薩摩川内市地域密着型サービス運営委員
主な業績 (教育・研究等)	小楠範子(2010). 拘束の弊害の一側面としてのスピリチュアル ペイン. ホスピスケアと在宅ケア, 18(3), 318-324 小楠範子(2008). 退院後の生活の場の決定に参加できない高齢者の体験. 老年社 会科学, 30(3), 404-414 小楠範子(2008). 高齢者の終末期の意思把握としての回想の可能性. 日本看護科 学会誌, 28(2), 46-54

## 教員情報

令和5年5月1日現在

園田 麻利子 (SONODA Mariko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	保健学修士
学位取得大学	琉球大学大学院保健学研究科
主な担当科目	がんを病む人の援助論、実践看護学演習、感染看護
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	慢性期にある患者の看護、看護学生に関する教育の在り方
学会・社会活動	日本看護協会 看護研究学会 日本緩和医療学会 がん看護学会 日本看護学教育学会 日本放射線看護学会
主な業績 (教育・研究等)	1)看護学生の領域別実習前の演習における学び 2)看護学生の「生と死」に対する考え方の推移 3)実習前演習の評価 4)自己効力感を高める実習前演習のあり方の検討 5)ターミナルケアの授業における学生の死生観に関する検討

## 教員情報

令和5年5月1日現在

田中 みゆき (TANAKA Miyuki)	
所属	看護栄養学部 看護科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	修士
学位取得大学	鹿児島大学医学部保健学科研究科保健学専攻（博士前期課程）
主な担当科目	公衆衛生看護、社会保障と健康
専門分野	公衆衛生看護
主な研究テーマ	母子保健、児童虐待、保健師人材育成
学会・社会活動	日本公衆衛生学会、日本発達障害学会
主な業績 （教育・研究等）	学会発表 A 保健センターにおける1歳6か月児健康診査児の状況～心理相談の現状分析～ 8・6 水害時の保健師活動～保健師の記憶をたどる～ 3 歳児健診の事後フォローの保健師活動について～支援アセスメントシートの活用状況から～ 1 歳6 か月児健診事後フォローとしての「すくすく親子教室」のあり方と保護者支援の視点に関する研究

## 教員情報

令和5年5月1日現在

福岡 美和 ( FUKUOKA Miwa )	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	修士(看護学)
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程
主な担当科目	母性保健概論 母子の心理と社会 助産学概論
専門分野	成育看護学分野
主な研究テーマ	小児期虐待 更年期障害 災害
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本母性衛生学会会員 日本助産学会会員 日本職業・災害医学学会会員 日本看護科学学会会員 日本女性医学学会会員 日本災害看護学会会員 日本災害医学学会会員
主な業績 (教育・研究等)	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 不妊治療での漢方薬を活用する知識とノウハウ 各論 第4章 経口避妊薬と黄体ホルモン 薬局 別冊 February, 2017 Vol. 68 No. 2 108(316)~114(322) 項</li> <li>2 女性のエストロゲン/アンドロゲンバランスと骨・カルシウム代謝 医学ジャーナル社 65(673)~74(682) 項</li> <li>3 経口避妊薬と黄体ホルモン 産婦人科の実際 金原出版 593~600 頁</li> </ol> <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 離島で働く助産師の問題 -1. やりがいについて- 日本職業・災害医学学会誌 64 巻 5 号 pp. 294-299</li> <li>2 離島で働く助産師の問題 -2. 困難感について- 日本職業・災害医学学会誌 64 巻 6 号 pp. 336-341</li> <li>3 Premenstrual Symptoms in Young Students and in Their Mothers at Their Ages International Journal of Nursing and Midwifery Vol. 9(9), pp. 113-120, September 2017</li> <li>4 Differences in Associations of Menopausal Symptoms with Job-related Stress Factors in Full-time and Part-time Workers in Japan International Journal of Nursing and Midwifery Vol. 10(1), pp. 1-7, January 2018</li> <li>5 日本人女性の更年期障害に関与するマルチリートメントの影響の解明 令和3年度 吉備国際大学研究部門自己点検・自己評価報告書</li> <li>6 Association of Interest in Disasters with an Understanding of Disaster Preparedness in Pregnant Women and Women with Infants 吉備国際大学研究紀要(医療・自然科学系) 第33号 pp11-19 2023-3</li> </ol>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

塩満 芳子 (SHIOMITSU Yoshiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（保健学）
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科
主な担当科目	地域保健診断、公衆衛生看護学
専門分野	地域看護 災害看護
主な研究テーマ	災害時における看護職の役割、多職種との連携・協働
学会・社会活動	日本公衆衛生学会、日本地域看護学会、日本災害看護学会 日本老年看護学会、日本応用老年学会 平成30年～薩摩川内市働く世代の健康づくり作業部会 令和2年～薩摩川内市第8期高齢者福祉・介護保険事業計画策定委員 令和5年～ 鹿児島県看護協会 訪問看護師養成講座講師 令和5年～ 鹿児島大学病院治験審査委員
主な業績 (教育・研究等)	1) A Comparison of the Contents of Disaster Nursing Practice and Perceived Difficulties Among Nurses Working at Welfare Evacuation Shelters Between Natural Disasters and Multiple Disasters: A Qualitative Study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 19(24). 2022 2) 比較的ゆとりのもてる臨地実習で看護計画の立案に重点を置く. 第3章[報告]さまざまな“在宅看護”実習の現場. コミュニティケア. 17(13). 55-59. 2015 3) 東日本大震災における被災地復興に向けた保健師の取り組み. インターナショナルナーシングレビュー. 35(3). 173-179. 2012. 4) 老人福祉センターA型における看護職と福祉職の緊急対応自己効力感とその関連要因. 応用老年学. 6(1). 39-49. 2012

教員情報

令和5年5月1日現在

白水 美保 (SHIRAMIZU Miho)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士（看護学）
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科（保健学専攻・臨床看護学分野）
主な担当科目	助産管理 助産診断・技術学
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	母親の心理・子育てに関する研究 性教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本助産学会会員 鹿児島子どもの虐待問題研究会会員 鹿児島県小児保健学会会員 GID（性同一性障害）学会会員
主な業績 （教育・研究等）	① 地域別にみた保護者の子どもへのう歯予防行動に関する意識とう歯発生との関係 ② 医療機関における乳幼児健康診査のあり方に関する研究 —保健所における乳幼児健診との比較— ③ 小児看護学実習前後の子ども観の変化 ④ 看護技術教育の充実に向けた取り組みについて ⑤ 性同一性障害の子どもをもつ母親の体験の意味 —性同一性障害を受容することの意味— ⑥ 助産師学生の NICU 実習での学びと助産師コア・コンピテンシーへの影響

## 教員情報

令和5年5月1日現在

福永 知久 ( FUKUNAGA Tomohisa )	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域
主な担当科目	こども看護学、小児保健概論
専門分野	小児看護、子どもの保健、乳児保育
主な研究テーマ	乳幼児期の健康と成長発達に関する研究
学会・社会活動	日本小児保健協会、日本看護科学学会、日本小児看護学会、日本保育学会、日本保育保健協議会
主な業績 (教育・研究等)	<p>(共著) 子ども学がやってきた。高橋弥生編著。一藝社。2017.</p> <p>(単著) 小児期・思春期を対象とする専門職に必要な保健の知識—小児肥満における子育て支援と生活習慣・発達障害との関連。人と教育。2018.</p> <p>(共著) 乳児保育—子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み—。入江慶太編著。教育情報出版。2018.</p> <p>(共著) 0歳児の指導計画完全サポート。原孝成監修。新星出版社。2019.</p> <p>(単著) 高等教育における「乳幼児の養護と教育に関わる科目」の教授のあり方—演習科目の効果的な内容と授業形態—。目白大学総合科学研究。2019.</p> <p>(単著) 子どもの健康と育ちを支える専門職のあるべき姿—病気や障がいに対する子どもと家族の理解・反応に焦点をあてた支援—。人と教育。2019.</p>

教員情報

令和5年5月1日現在

前原 宏美 (MAEHARA Hiromi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	九州看護福祉大学
主な担当科目	精神健康論 精神看護学 精神看護学概論 グループダイナミクス
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	感情労働 コミュニケーションスキル 思春期の精神的健康
学会・社会活動	日本思春期学会 日本看護学教育学会 日本看護研究学会 日本健康医学会 医療の質・安全学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>【学術論文】                      【資料】通年型自然体験活動を体験した参加児童の活動前後の生きる力、メンタルヘルス、自己成長感、自己効力感の比較。思春期学 38 (1) 147-160 2020                      【原著論文】前原 宏美, 前原潤一, 宇野木照代, 藤崎資子: 精神看護学実習で体験した看護学生の感情労働: アサーション, 攻撃性の影響。医療の質・安全学会誌 14 (3) 299-305 2019                      【資料】森本真寿代, 前原宏美, 佐藤 繭子: わが国の家庭で親が行う性教育に関する研究の動向—看護関連の文献のエビデンスレベル—。日本看護研究学会雑誌 42 (2) 231-240 2019                      【資料】前原宏美: 演劇を行っているものにおける自己成長と自己効力感が生きる力の及ぼす影響。思春期学 37 (1) 160-167 2019                      【原著論文】前原宏美, 前原潤一: 精神科看護師の感情労働とコミュニケーションスキルの関連。医療の質・安全学会誌 13 (3) 255-266 2018                      【原著論文】前原宏美, 前原潤一: 精神科看護師のアサーションと患者・看護師の信頼関係形成に向けたかかわり。日本健康医学会雑誌 27 (1) 24-33 2018                      【紀要論文】前原宏美, 前原潤一, 米元富貴代: 精神科看護師の感情労働の分類によるバーンアウトの関係性。帝京大学福岡医療技術学部紀 13 63-72 2018                      【原著論文】前原宏美, 久佐賀真理, 福本久美子, 柴尾嘉洋, 前原潤一: 青年期女子の母性意識と幼少期における体験の関連。健康支援 20 (1) 43-55 2018                      【紀要論文】前原宏美, 前原潤一: 精神科看護師のバーンアウト: 精神科職場環境ストレスと感情労働との関連。帝京大学福岡医療技術学部紀要 12 67-76 2017                      【原著論文】前原宏美, 久佐賀真理, 福本久美子, 柴尾嘉洋, 前原潤一: 女子大学1年生のダイエット行動: 体型による比較。思春期学 35 (1) 144-151 2017                      【研究報告】前原宏美, 久佐賀真理, 前原潤一: 青年期女子の母性意識とダイエット行動の関連。女性心身医学 31 (2) 186-194 2016                      【資料】前原宏美: 看護学生のコミュニケーション・スキル習得に関する研究概観。日本看護学教育学会誌 26 (2) 95-100 2016                      【活動報告】前原宏美: 思春期男女の演劇活動: 生きる力, 自己成長, 自己効力感, こころの居場所としての効果。思春期学 34 (3) 346-355 2016                      【紀要論文】幸史子, 岩井真弓, 小山記代子, 野高朋美, 村上江利子, 倉成由美, 前原宏美: 看護学生のコミュニケーション・スキル習得に関する研究。帝京大学帝京大学福岡医療技術学部紀要 10 1-10 2015                      【学会発表】                      前原宏美: 精神科看護師の攻撃性と自己嫌悪感の関係。日本看護研究学会第 47 回学術集会 WEB2021                      前原宏美: 看護学生のコミュニケーションスキルと精神看護学実習における感情労働の関係性。日本看護学教育学会第 31 回学術集会 WEB2021                      前原宏美: 看護師の他者意識と共感の関係性。第 15 回医療の質安全学会学術集会 WEB 2020                      前原宏美, 山田美幸, 米元富貴代, 倉成由美: 精神科看護学実習における看護学生と対象者の援助的関係形成に関する研究。日本看護学教育学会第 30 回学術集会 WEB2020                      前原宏美: 精神科看護学実習における対象者からの好意に対する学生の困惑。第 39 回思春期学会総会・学術集会 WEB 2020                      前原宏美: 看護学生の基本的, 援助的コミュニケーションスキルの特徴。日本看護研究学会第 45 回学術集会 2019                      前原宏美: 看護学生の共感性と他者意識の関係性。第 29 回日本健康医学会 2019                      前原宏美, 宮下恵理, 前原潤一: 看護師のコミュニケーションスキル—共感性と他者意識の関係性—。第 14 回医療の質・安全学会学術集会 2019                      前原宏美: 通年型自然活動体験に参加した思春期男女のコミュニケーションスキル: 体験前後の比較。第 38 回日本思春期学会学術集会 2019 (他 16 件)</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

<b>檣柑 富貴子 (MIKAN Fukiko)</b>	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	人間科学修士・教育学士
学位取得大学	東洋英和女学院大学大学院・青山学院大学
主な担当科目	緩和ケア
専門分野	がん看護
主な研究テーマ	内分泌療法中の閉経前乳がん患者における日常生活行動の支障感に関する研究
学会・社会活動	日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本看護研究学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Fukiko Mikan. Development of a scale to measure nurses' perceptions of patient-death. Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University. 2008 ; 18 : 1-7.</li> <li>2) 日下部明彦, 平野和恵, 池永恵子, 齊藤直裕, 檣柑富貴子, 沖田将人, 稲森正彦, 白土明美, 森田達也. 地域の多職種で作る「死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのマニュアル」. 癌と化学療法. 2014 ; 41 (Suppl. I) : 42-44.</li> <li>3) Fukiko Mikan, Makoto Wada, Michiko Yamada, et al. The Association between Pain and Quality of Life for Patients with Cancer in an Outpatient Clinic, an Inpatient Oncology Ward, and Inpatient Palliative Care Units. American Journal Hospice &amp; Palliative Medicine. 2016 ; 33 (8) : 782-790.</li> <li>4) 日下部明彦, 野里洵子, 平野和恵, 齊藤直裕, 池永恵子, 檣柑富貴子, 結束貴臣, 松浦 哲也, 吉見明香, 内藤明美, 沖田将人, 稲森正彦, 山本裕司, 森田達也. 「地域の多職種でつくった死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのガイドブック」の医学教育に用いた報告. Palliative Care Research. 2017 ; 12 (1) : 906-910.</li> <li>5) 檣柑富貴子, 国府浩子. 乳がん患者における更年期症状に伴う日常生活行動の支障に関する概念分析. 日本がん看護学会誌. 2019 ; 33 (Suppl) : 269.</li> <li>6) 檣柑富貴子. 更年期症状を抱える内分泌療法中の閉経前乳がん患者に対する支援. 2018 年度テルモ生命科学振興財団一般研究開発助成Ⅱ成果報告書. 2020.</li> </ol>

## 教員情報

令和 5 年 5 月 1 日現在

柳園 順子 (YANAGIZONO Yoriko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻
主な担当科目	学校保健、養護実習Ⅰ・Ⅱ、健康相談活動の理論及び方法、教育原理
専門分野	学校保健、健康相談、教育学
主な研究テーマ	ジェンダー・セクシュアリティと教育に関する史的研究 学校保健・養護教諭制度の成立と発展過程に関する研究
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本教育学会、日本家族社会学会、日本学校保健学会、日本養護教諭教育学会、九州教育学会、関西家族社会学研究会（KAFS）</li> <li>・ 日本養護教諭養成大学協議会評議員</li> </ul>
主な業績 (教育・研究等)	<p><b>【著書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳園順子編『よくわかる！教職エクササイズ⑧学校保健』ミネルヴァ書房. 2019年（編著）</li> <li>・ 香川七海他編『七猫教育テキスト3 教育原理』七猫社. 2019年（共著）</li> <li>・ 柳園順子『学校保健』姫路大学教育学部通信教育課程. 2019年（単著）</li> <li>・ 柳園順子『養護実習事前・事後指導』姫路大学教育学部通信教育課程. 2019年（単著）</li> <li>・ 柳園順子『健康相談活動』姫路大学教育学部通信教育課程. 2020年（単著）</li> </ul> <p><b>【論文】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「養護教諭制度の成立と普及について—職制20（1961）年までの議論を素材に—」姫路大学教育学部紀要第13号. 15—25. 2020年</li> <li>・ 「性教育の歴史社会学的研究②学校文化における生徒指導・道徳教育・月経指導の諸相」姫路大学教育学部紀要第12号. 41—47. 2019年</li> <li>・ 「戦後改革期の矯風会による純潔運動と母役割の強調—杉並事件をめぐる対応を中心に—」九州教育学会研究紀要第42巻. 37—44. 2014年、他多数</li> </ul> <p><b>【学会発表等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「1970年代初頭における「セクシュアリティ概念」受容の諸相—LAカーケンダールの新しい性教育を焦点に」日本家族社会学会第30回大会. 2020年</li> <li>・ 「1950年前後の学校における健康教育—1949年中等学校保健計画実施要項（試案）「成熟期への到達」を焦点に—」日本教育学会第70回大会. 2020年、他多数</li> </ul> <p><b>【競争的資金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業 基盤（C）「戦後日本における性教育構築プロセスに関する歴史社会学的研究」令和元年度～令和3年度</li> </ul> <p>※詳細は <a href="https://researchmap.jp/yngznryk">researchmap</a> 参照 <a href="https://researchmap.jp/yngznryk">https://researchmap.jp/yngznryk</a></p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

浅野 倫子 (ASANO Rinko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士 がん看護学専攻
学位取得大学	武蔵野大学大学院
主な担当科目	在宅看護論
専門分野	エンドオブライフケア
主な研究テーマ	がん看護 在宅看護 意思決定支援 家族ケア
学会・社会活動	日本がん看護学会・日本家族看護学会・日本統合医療学会 NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会の正会員
主な業績 (教育・研究等)	<p>1. 著書</p> <p>1) 遠藤恵美子, 三次真理, 宮原知子編著: マーガレット・ニューマンの理論に導かれたがん看護実践 ナースの見方が変わり、ケアが変わり、患者・家族に違いが生まれる第Ⅱ章実践編 ナースは、患者・家族のパターンから、そこに映し出されている意味をつかむ—重要なことは、パターンを感じ取るナースの感受性, 看護の科学社, 43-51, 2014.</p> <p>2) 浅野倫子, 三次真理: 第4回 Newman 理論に導かれ、患者・家族との対話を核にしたケアリングパートナーシップのケアを日常の看護実践に織り込む過程—1つの実践事例紹介—. がん看護, 24(3), 南江堂, 303-307, 2019.</p> <p>2. 論文</p> <p>1) 浅野倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究—ニューマンの健康の理論に基づいたケアの試み—, 武蔵野大学紀要, 2012.</p> <p>2) 古里倫子, 遠藤恵美子, 高木真理, 宮原知子: 第7回ターミナル期のAさんとその両親と私の寄り添い—ニューマン理論に導かれた寄り添いから生まれた'つながり'のケアとそれが意味すること, マーガレット・ニューマンの理論に基づく看護実践—看護師の見方が変わり、ケアの違いを生み出す—, 看護実践の科学 38(8) 43-53, 2013.</p> <p>3. 学会発表</p> <p>1) 宮原知子, 森谷紀代子, 古里倫子, 倉持亜希, 高橋麻里子: ニューマン理論に基づく終末期患者とその家族(意識)の拡張を促すケアのあり方—修士課程の学生との授業を通しての探究—, 日本がん看護学会誌 25(特別号), 113, 2011.</p> <p>2) 古里倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究, 日本家族看護学会プログラム抄録集 19回, 102, 2012.</p> <p>3) Rinko Furusato, Emiko Endo: Pattern Recognition Through Dialogue in Family—Nurse Partnership Care within Margaret Newman's Theory and Differences Made in Both Family And Nurse, 11<sup>th</sup> International Family Nursing Conference, 2013.</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

<b>鞍掛 洋美 (KURAKAKE Hiromi)</b>	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	長崎大学医歯薬総合研究科
主な担当科目	保健指導技術論、福祉・組織実習、健康教育論
専門分野	公衆衛生看護学
主な研究テーマ	保健師教育、公衆衛生放射線看護
学会・社会活動	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本思春期学会、日本災害看護学会、日本放射線看護学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校衛生看護科の生徒を対象とした教授法（共著）、第3回日本看護研究学会・九州地方会、1999.3</li> <li>・ 南薩圏域における産後のメンタルヘルス支援の取組について、第55回鹿児島県公衆衛生学会、2013.5</li> <li>・ 在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、第27回鹿児島県小児保健学会、2013.8</li> <li>・ 医療的ケアを必要とする児への地域支援体制構築に向けた取組について一考察、第56回鹿児島県公衆衛生学会、2014.5</li> <li>・ 在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、小児保健かごしま第27号、2014.8</li> <li>・ 加世田保健所における健やか育児サポート事業「ママリラックス教室」の3年間のまとめ（共著）、小児保健かごしま第27号、2014.8</li> <li>・ 始良・伊佐地域における小児在宅医療推進に向けた取組（誌上発表）、第61回鹿児島県公衆衛生学会、2019.5</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

坂下 恵美子 (SAKASHITA Emiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	宮崎大学大学院
主な担当科目	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 看護対象実践
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	終末期がん患者の看取りにかかわる看護師支援に関する研究
学会・社会活動	日本看護科学学会 日本看護研究学会 日本がん看護学会
主な業績 (教育・研究等)	<p><b>論文</b></p> <p>2020/03 看取りにかかわる新人看護師のロールモデルの先輩看護師が意識する新人支援、南九州看護研究誌、18巻1号、19-26</p> <p>2018/03 新人看護職員研修における終末期がん患者の看取り教育の検討、南九州看護研究誌、第16巻1号、1-9</p> <p>2017/12 一般病棟で終末期がん患者にかかわる若手看護師の困難な看取り経験から学び、ホスピスケアと在宅ケア、第25巻2号、110~115</p> <p>2017/03 一般病棟で終末期がん患者の看取りにかかわる若手看護師の直面する困難の検討、南九州看護研究誌、第15巻1号、31-38、</p> <p>2012/03 終末期がん患者の看取り経験の中に存在する看護師のエンパワーメントの検討、南九州看護研究誌、第10巻1号、9-18</p> <p><b>学会発表</b></p> <p>2020/02 看取り経験のある新人看護師の支援体制と看護ストレスの検討 (第34回日本がん看護学会学術集会)</p> <p>2019/12 一般病棟で看取りにかかわる新人看護師への教育・支援に関する文献検討 (第39回日本看護科学学会学術集会)</p> <p>2017/12 新人看護師が終末期がん患者の看取りを経験するプロセス (第37回日本看護科学学会学術集会)</p> <p>2016/12 看取りにかかわる新人看護師のロールモデルである中堅看護師が実践している新人看護師指導の現状 (第1報) (第36回日本看護科学学会学術集会)</p> <p><b>受託研究</b></p> <p>2018-2021 新人看護師が終末期がん患者の命に寄り添う力を育む看取りOJT支援プログラムの開発 (基盤研究C)</p> <p>2014-2016 新人看護師が終末期がん患者に寄り添う力を支援する看取りケア教育プログラムの開発 (基盤研究C)</p> <p>2011 終末期がん患者の看取りに関わる若手看護師の直面する困難要因の検討 (日本看護研究学会九州・沖縄地方会研究助成金)</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

永濱 佳織 (NAGAHAMA Kaori)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	千葉大学大学院看護学研究科
主な担当科目	生活調整援助論（看護編）、プレゼンテーション技法
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	臨地実習における学生の患者本位の思考形成の過程について
学会・社会活動	日本看護研究学会 鹿児島県看護協会川薩地区教育委員（2013.4.1～2015.3.31）
主な業績 （教育・研究等）	

教員情報

令和5年5月1日現在

萩原 久美子 (HAGIWARA Kumiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士（文学）
学位取得大学	上智大学大学院 実践宗教学研究科死生学専攻
主な担当科目	キリスト教と生命倫理, 純心講座
専門分野	高齢者の終末期ケア
主な研究テーマ	死生観に関する研究
学会・社会活動	老年看護学会, スピリチュアルケア学会, 社会福祉学会, 介護福祉学会 日本臨床宗教師会
主な業績 (教育・研究等)	<p>&lt;論文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・萩原久美子・桑原和代（2022）. 特別養護老人ホームに勤務する介護福祉士の看取り観に影響を与える要因, 介護福祉学 29 (1), 33-34.</li> <li>・萩原久美子（2021）. 介護福祉士が行うスピリチュアルケアについての一考察, スピリチュアルケア研究, 15, 51-64.</li> <li>・小楠範子・萩原久美子（2009）. 胃瘻増設を余儀なくされた高齢者の家族の思い; 胃瘻増設後, 再び経口摂取可能となった高齢者の家族に焦点を当てて, ホスピスと在宅ケア, 17 (3), 275-281.</li> <li>・小楠範子・萩原久美子・狩浦美恵子（2007）. 終末期に施設から病院への転院を余儀なくされた高齢者のスピリチュアルペイン, ホスピスと在宅ケア, 15 (3), 216-224.</li> <li>・小楠範子・萩原久美子（2007）. 特別養護老人ホームで働く職員の終末期ケアのとらえ方; 終末期における「よかったこと」「むずかしかったこと」に焦点を当てて, 老年社会科学, 29 (3), 345-354.</li> <li>・萩原久美子・長池幸子（2006）. 介護施設における経管栄養者への経口摂取支援の取り組み, 臨床看護, 32 (2), 276-281.</li> <li>・小楠範子・萩原久美子（2004）. 養護老人ホーム利用者のスピリチュアルニーズ; 設置母体の異なるホーム利用者との面談より, 死の臨床, 43, 87-93.</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

新福 絵里香 (SHINPUKU Erika)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	該当なし
学位取得大学	
主な担当科目	助産診断・技術学演習Ⅱ
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	新生児看護について
学会・社会活動	〈所属学会〉 日本母性看護学会 日本周産期・新生児医学会 〈活動等〉 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
主な業績 (教育・研究等)	逆搬送患者の思いの変化とその理由の検討 - 逆搬送の情報提供を受けてから逆搬送に至るまで -

## 教員情報

令和5年5月1日現在

山下 里奈 (YAMASHITA Rina)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	熊本大学大学院 保健学教育部保健学専攻 (博士前期課程)
主な担当科目	診療援助論、看護方法論実践、基礎看護技術Ⅱ (生活援助)
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	主体的学習に基づく効果的な基礎看護技術教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会会員 日本看護技術学会会員 鹿児島県看護協会川薩地区教育委員 (2021.6.1～2023.5.31)
主な業績 (教育・研究等)	<p>&lt;論文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 共著, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol18, 2014.3</li> <li>・ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果, 熊本大学大学院修士論文, 2017.3月</li> <li>・学内演習「発達援助実践」の教育効果に関する考察, 共著, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol25, 2021.3月</li> </ul> <p>&lt;学会発表&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 日本看護研究学会第18回九州・沖縄地方会学術集会, 2013.3月</li> <li>・ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果, 日本看護技術学会第16回学術集会, 2017.10月</li> <li>・看護学生と看護者の倫理的行動および道徳的感受性の検討, 日本看護研究学会第24回九州・沖縄地方会学術集会, 2019.11月</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

永井 寛子 (NAGAI Hiroko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	学士
学位取得大学	大阪大学
主な担当科目	地域母子保健, 母性保健概論, 母子の心理と社会
専門分野	助産学, 母性看護学
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

## 教員情報

令和5年5月1日現在

福岡 真理 ( FUKUOKA Mari )	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	長崎大学大学院医歯薬総合研究科
主な担当科目	健康回復支援実践、発達援助論
専門分野	成人看護、放射線看護
主な研究テーマ	災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状
学会・社会活動	日本放射線看護学会 所属
主な業績 (教育・研究等)	1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017. 2) UPZ 内原子力災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状, 一般社団法人日本放射線看護学会第 10 回学術集会, 口演発表, 2021. 3) UPZ 内原子力災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状, 日本放射線看護学会誌, 9(2),75-87,2021.

## 教員情報

令和5年5月1日現在

奥平 綾美 (OKUHIRA Ayami)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

### 【学位・業績等】

有する学位	学士（看護学）
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	健康回復支援（基礎・応用）
専門分野	成人看護
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 （教育・研究等）	

教員情報

令和5年5月1日現在

濱田 寿美 (HAMADA Hisami)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	なし
学位取得大学	
主な担当科目	老年看護実践
専門分野	老年看護領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

## 教員情報

令和5年5月1日現在

協園 幸恵 (WAKIZONO Yukie)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

### 【学位・業績等】

有する学位	学士(看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	発達援助実践、看護方法論実践
専門分野	基礎看護学領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本看護研究学会
主な業績 (教育・研究等)	1. 看護学生と看護者の倫理的行動および道徳的感受性の検討(2019.11:共同研究) 2. 緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(3)(2021.3:共同研究)

## 教員情報

令和5年5月1日現在

<b>坂井 恵子 (SAKAI Keiko)</b>	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授 / 看護栄養学部長

### 【学位・業績等】

有する学位	薬学博士
学位取得大学	鹿児島大学／名古屋市立大学
主な担当科目	栄養学総論、生化学、生命科学
専門分野	脂質栄養、生化学、分子生物学
主な研究テーマ	情動機能と栄養、 筋ジストロフィー（タイプ I、2）における RNA CUG 結合たんぱく質の病態に及ぼすメカニズム
学会・社会活動	学会：American Association of Academy of Sciences The New York Academy of Sciences 日本脂質栄養学会、日本臨床栄養学会、日本アレルギー学会 社会活動：さわやか健康栄養教室講師、日本脂質栄養学会評議員 薩摩川内市環境審議会委員
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Huichalaf C., <b>Sakai K.</b>, et al., Expansion of CUG RNA repeats causes stress and inhibition of translation in Myotonic Dystrophy 1 cells. FASEB J., 24:3706-19, 2010</li> <li>2. <b>Sakai K.</b>, Tiebel O., et al., A neuronal VLDL variant lacking the third complement-type repeat exhibits high capacity binding of apoE containing lipoproteins. Brain Res. 1276:11-21,2009</li> <li>3. Salisbury E., <b>Sakai K.</b>, et al., Ectopic expression of cyclin D3 corrects differentiation of DM1 myoblasts through specific activation of RNA CUG-binding protein,CUGBP1. Exp.Cell Res.,314:2266,2008</li> <li>4. <b>坂井恵子</b>, 黒江稀美子他, 高オレイン酸植物油と乳酸菌摂取の相互作用がラットの血液と肝臓に及ぼす影響. ～オリーブ油と水添植物油との比較～. 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, 24:13-20, 2020</li> <li>5. <b>坂井恵子</b>, 黒江稀美子他, 高オレイン酸ひまわり油と高オレイン酸菜種油がラットの不安行動に及ぼす影響. ～オリーブ油の不安行動との比較～, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, 24:21-26, 2020</li> </ol>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

中野 隆之 (NAKANO Takayuki)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士、農学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院農学研究科修士課程
主な担当科目	食品学総論, 食品機能論, 食品加工学
専門分野	食品機能学, 食品科学, 電気生理学
主な研究テーマ	食品の成分分析と生理機能に関する研究
学会・社会活動	日本栄養・食糧学会, 日本生化学会, 日本農芸化学会 日本食品科学工学会, 日本聴覚医学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>分子栄養学 (建帛社)</p> <p>食べ物と健康 - 食品学, 食品機能学, 食品加工学 - (医歯薬出版株式会社) (2017)</p> <p>ボタンボウフウ葉と桑葉を含む青汁食品摂取による食後血糖値上昇抑制効果検証試験 - 無作為化二重盲検クロスオーバー試験 - <u>中野 隆之</u>, 野崎 勉, 田中 郁郎, 木村 昌代, 石原 健夫 (査読有) 薬理と治療 (JPT) Vol.44, No.3 p391-p397 (2016)</p> <p>The development of the new black vinegar and the function <u>T. Nakano</u>, T. Nozaki, K. Ishihara</p> <p>ICoFF 2015 The 6th Inter-national Conference on Food Factors Nov. 22~25, 2015 Coex, Seoul, Republic of Korea</p> <p>In vitro anticancer activity of loquat tea by inducing apoptosis in human leukemia cells Phyu Phyu Khine Zar, Satoshi Yano, Kozue Sakao, Fumio Hashimoto, <u>Takayuki Nakano</u>, Makoto Fujii and De-Xing Hou (査読有) Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 78(10): p1731-p1737 (2014)</p> <p>DEVELOPMENT OF A NONDESTRUCTIVE DETECTOR OF UNSUITABLE CHICKEN EGGS USING LED LIGHTS FOR INFLUENZA VACCINE PRODUCTION K. Kimura, K. Nakano, S. Ohashi, <u>T. Nakano</u></p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

岩田 真一 (IWATA shin-ichi)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	〔学部〕 医療概論、解剖生理学、看護薬理学 〔大学院〕 精神薬理学特論
専門分野	神経内科、薬理学
主な研究テーマ	パーキンソン病
学会・社会活動	神経内科専門医（指導医） 日本薬理学会学術評議員 日本神経精神薬理学会評議員 総合内科専門医
主な業績 （教育・研究等）	Parkinson 病の痛み. 神経内科 66 : 94-97, 2007. Delayed L-DOPA-induced hyperalgesia. Pharmacol. Biochem. Behav. 85: 643-647, 2006. Administration of haloperidol and biperiden reduces mRNAs related to the ubiquitin-proteasome system in mice. Synapse 56: 175-184, 2005. Antinociceptive mechanism of L-DOPA. Pain 110: 246-249, 2004. Gene expression profiling in the midbrain of striatal 6-hydroxy -dopamine-injected mice. Synapse 51: 279-286, 2004.

## 教員情報

令和5年5月1日現在

牧原 勝志 (MAKIHARA Katsushi)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授 / 教員養成センター所長

### 【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学
主な担当科目	教職論、教育制度論
専門分野	教職研究、教員研修研究、小学校英語教育
主な研究テーマ	教員養成と研修の高度化 主体的・対話的で深い学びを育む小学校外国語科の学習指導
学会・社会活動	九州教育学会、日置市教育委員会外部評価委員、鹿児島県小学校外国語活動・外国語科研究会顧問
主な業績 (教育・研究等)	鹿児島県公立小学校教員・教頭・校長、県小学校外国語活動・外国語科研究会長、鹿児島大学教育学部附属教育総合実践総合センター教授、県総合教育センター企画課長、日置市立中央図書館長を経て現在 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校外国語活動の現状と展望～課題解決的な学習活動の展開～」2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第20巻</li> <li>・「総合講義『教職応用研究』の実践」（共著）2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻</li> <li>・「コミュニケーションへの積極的な態度を育てる小学校外国語活動」2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻</li> <li>・「総合講義『教職実践研究Ⅱ』の実践」（共著）2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻</li> <li>・「コミュニケーションへの積極的な態度を育てる小学校外国語活動～子どもの『気付き』を生かす指導を通して」（共著）2012年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第22巻</li> <li>・「学級経営の実践的指導力の育成を図る『教職実践研究Ⅱ』の取組～実地観察をもとにした学級経営案の作成を通して～」(共著) 2012年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第22巻</li> <li>・「教員としての職能形成に資する教育システムの構築と運用－新任から10年目教員へいたる卒業後支援体制の構築」(共著) 2012・13年 文部科学省特別教育研究経費事業報告書(鹿児島大学教育学部)</li> <li>・「小学校英語ハンドブックー小学校英語の教科化」(共著) 2017年 啓林館</li> <li>・「小学校外国語科教科書『Blue Sky elementary (5・6年)』」編集協力 2016・17年 啓林館</li> <li>・「小学校英語で取り扱う語彙の音声的特徴 ～二重母音、音節数、子音連鎖に注目して～」(共著) 2020年 VERBA 鹿児島大学言語文化論集</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

松元 圭太郎 ( MATSUMOTO Keitaro )	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（農学）
学位取得大学	京都大学大学院農学研究科食品工学専攻
主な担当科目	食品衛生学、運動生理学、食品学実験
専門分野	運動と栄養、食品衛生学
主な研究テーマ	運動と栄養、食品の安全性
学会・社会活動	所属学会：日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、 日本栄養改善学会、日本臨床栄養学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咀嚼回数と食事にかかる時間が摂食量および食後の満腹感と空腹感に及ぼす影響 松元圭太郎、野田親世、下橋樺奈、佐々木優 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 <b>23</b>, 68-77, 2019.</li> <li>・鹿児島県内にて販売されたウナギ加工食品における原料のウナギ種の調査(2013-2017年) 松元圭太郎、角田香澄、加藤恵理、神野沙耶香、富田茉幸、池上菜穂子、小濱翔子、久木園優子、田畑結衣、黒江由莉子、海田彩夏、横山愛、岩田萌子、村田真琴、若林瑞季、佐々木優、下橋樺奈、野田親世 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 <b>22</b>, 38-47, 2018.</li> <li>・機能性表示食品の認知および機能性表示に関わる食品区分の違いの認識 松元圭太郎、寺園春風 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 <b>21</b>, 13-21, 2017.</li> <li>・食品の安全性 松元圭太郎 栄養素でわかる食品と健康 WEB 運動テキスト 柴田克己・木戸康博 共編著(培風館), p164-177, 2016.</li> <li>・健康科学系女子大学生における特定保健用食品の食用油の利用実態 松元圭太郎、村上太郎、石原健吾、岡村浩嗣、矢口友理、小野智子、藤井久雄、橋場直彦 日本栄養・食糧学会誌 <b>68</b>, 233-241, 2015.</li> <li>・運動とエネルギー代謝・健康増進と運動 松元圭太郎 応用栄養学 伏木亨・山崎英恵 編著(アイ・ケイコーポレーション), p142-154, 2013.</li> <li>・Branched-chain amino acid supplementation attenuates muscle soreness, muscle damage and inflammation during an intensive training program. Matsumoto K, Koba T, Hamada K, Sakurai M, Higuchi T, Miyata H. <i>J Sports Med Phys Fitness</i> <b>49</b>: 424-431, 2009.</li> <li>・Branched-chain amino acids and arginine supplementation attenuates skeletal muscle proteolysis induced by moderate exercise in young individuals. Matsumoto K, Mizuno M, Mizuno T, Dilling-Hansen B, Lahoz A, Bertelsen V, Munster H, Jordenig H, Hamada K, Doi T. <i>Int J Sports Med</i> <b>28</b>: 531-538, 2007.</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

今村 佳代子 (IMAMURA Kayoko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻
主な担当科目	栄養教育論、栄養カウンセリング論、応用栄養学
専門分野	栄養教育、スポーツ栄養（公認スポーツ栄養士）
主な研究テーマ	スポーツをする高校生・大学生への栄養教育 高齢者のフレイル予防のための食教育
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会（理事）、 日本栄養士会研究教育事業部推進委員、 日本栄養改善学会（評議員）、日本スポーツ栄養学会（評議員）、 日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常朝食型高脂肪負荷食 Kisei-meal による食後高脂血症の評価と食後 TG-rich リポ蛋白代謝に及ぼす影響. 動脈硬化, 28 : 205-213, 2001 : <u>今村佳代子</u>, 丸山千寿子, 都島基夫, 京谷晋吾, 中野里美, 仲森隆子, 丸山太郎</li> <li>2. Effects of tomato juice consumption on plasma and lipoprotein carotenoid concentrations and the susceptibility of low density lipoprotein to oxidative modification. Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 47 : 213-221, 2001 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, S Oshima, M Suzukawa, S Egami, M Tonomoto, N Baba, M Harada, M Ayaori, T Inakuma, T Ishikawa</li> <li>3. Assessment of LDL particle size by Triglyceride / HDL-Cholesterol ratio in non-diabetic, healthy subjects without prominent hyperlipidemia. J Atheroscler Thromb, 10 : 186-191, 2003 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, T Teramoto</li> <li>4. 鹿児島県内小学校における食育の現状. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 13 : 43-51, 2009 : <u>今村佳代子</u>, 原口美穂, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 瀬上綾, 松木田恵美, 和田みゆき</li> <li>5. 母親の食生活に対する行動変容の準備性と児童の朝食摂取との関係. 日本公衆衛生学会誌, 59 : 277-287, 2012 : <u>今村佳代子</u>, 瀬上綾, 和田みゆき, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 原口美穂, 松木田恵美, 丸山千寿子</li> <li>6. 男子高校生における習慣的運動と食生活および食意識との関係. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 22 : 48-54, 2018 : <u>今村佳代子</u>, 久永まゆみ, 染川真里佳, 池田ちほみ, 大小田桃子, 野村果代, 和田麻希</li> <li>7. 子どもの食育と保護者の食生活観. 保健の科学, 61 : 672-676, 2019 : <u>今村佳代子</u></li> <li>8. 運動部に所属する女子中学生・高校生アスリートの食生活および食意識の現状～スポーツ栄養に関する講演会の実施より～. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 24 : 51-60, 2020 : <u>今村佳代子</u>, 久木田ヒロミ</li> <li>9. 生活習慣病予防のための食習慣と運動習慣. 公社 全国スポーツ推進委員会機関誌 みんなのスポーツ, 468 : 18-20, 2020 : <u>今村佳代子</u></li> </ol> <p>（その他）            アスレシビ：アスリートのためのスポーツ栄養・食育サイト            （日刊スポーツ新聞社） <a href="https://athleterecipe.com/">https://athleterecipe.com/</a>            「KAGOSHIMA 食×スポーツ」コラム担当, 2019～</p>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

川野 美智代 (KAWANO Michiyo)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	家政学士
学位取得大学	相模女子大学学芸学部食物学科
主な担当科目	公衆栄養学 公衆栄養学実習 公衆栄養関連法規各論 等
専門分野	食文化 運動及びスポーツ栄養 調理学
主な研究テーマ	食文化 アスリートの栄養マネジメント 認知症発症における栄養条件の検討
学会・社会活動	<p>日本栄養士会 和食文化国民会議 日本臨床栄養協会 日本スポーツ栄養学会等</p> <p>社会活動：プロバスケット熊本ヴォルターズ栄養サポートアドバイザー、「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」熊本大学共同研究 (AMED), 熊本県嘉島町国保血管キレイプロジェクトアドバイザー</p>
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Malnutrition in Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and frontotemporal lobar degeneration: comparison using serum albumin, total protein, and hemoglobin level.: A. Koyama, M. Hashimoto, H. Tanaka, N. Fujise, M. Kawano and M. Ikeda 2016.6 PLoS One</li> <li>・ 生活習慣を見直し望ましい食習慣を実践できる子どもをめざして～本校における体力向上のための「食」からのアプローチ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 130-136 2014.7 :川野美智代</li> <li>・ 体力を上げるための「食」からのアプローチ(児童). くまもと小児保健研究会 2014: 32-36, 2014.10: 川野美智代</li> <li>・ 特別支援学校と施設における栄養士の連携 日本栄養士会 障害児施設と特別支援学校との連携モデル事業集 195-200, 2014.7: 高野博文, 川野美智代</li> <li>・ 個をみつめつつ集団を大切に「食」指導を目指して&lt;食に関する個別指導の実践&gt; 熊本大学学習教育研究第5号・6号 41-48, 2014.10: 川野美智代</li> <li>・ 生きた教材をとおして食への意識を高める指導の在り方～部活動を通じた食に関する指導～ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 2010 132-137, 2010.3: 川野美智代</li> <li>・ 望ましい食習慣を身につける子どもをめざして～「食」に関する個別指導～ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 41-48, 2010: 川野美智代</li> <li>・ 大学生(医学系)に対する食生活状況調査について 文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会) 69-84, 1990.11: 川野美智代, 潮中頼子, 飯塚美智代</li> <li>・ 沖縄の食文化について～庶民の食生活の中にその原点を探る～ 文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会) 11-51, 1989.11: 蔵本朝香, 川野美智代, 河野裕美, 田村健一郎</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

木之下 道子 (KINOSHITA Michiko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	準学士
学位取得大学	純心女子短期大学
主な担当科目	病態栄養学、臨床栄養管理学、臨床栄養活動論
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	CKDにおけるたんぱく制限食の治療効果
学会・社会活動	日本静脈経腸栄養学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本調理科学会、鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症心身障害児（者）における栄養必要量の見直し</li> <li>・がん患者における症状別レシピ集</li> <li>・鹿児島県における脳血管疾患が多い地域と少ない地域での減塩に対する意識調査</li> <li>・地域連携のための栄養管理標準化の検討 第1報</li> <li>・地域連携（医療・介護・在宅）に必要な栄養管理情報に関する実態調査</li> <li>・「伝え継ぐ 日本の家庭料理」著 分担</li> <li>・学生を対象とした塩分摂取調査「減塩食試食前後の食塩に対する意識変化」</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

山元 有子 (YAMAMOTO Yuko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	人間科学修士
学位取得大学	早稲田大学大学院人間科学研究科
主な担当科目	家庭科教育法, 教職実践演習(中・高), 家庭総合
専門分野	教育工学, 家庭科教育
主な研究テーマ	グループ学習における学習効果
学会・社会活動	日本教育工学会, 日本教育心理学会, 日本家庭科教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピア・インストラクションを取り入れた授業がテスト成績に及ぼす影響. 日本教育工学会研究報告集, 16(4) 103-110 山元有子・向後千春 2016年</li> <li>・グループ活動の内容の違いが個別のテスト成績に及ぼす効果. 日本教育工学会研究報告集, 15(2) 51-58 山元有子・向後千春 2015年</li> <li>・グループ活動が学習成績と授業評価に及ぼす影響. 日本教育工学会研究報告集, 14(2) 83-90 山元有子・向後千春 2014年</li> <li>・シナリオ作成を伴ったロールプレイング授業が批判的思考態度に及ぼす効果. 日本教育工学会論文誌, 37(Suppl.), 33-36 山元有子・向後千春 2013年</li> </ul> <p>教育実践に関する発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの食生活を展望する力を養う小・中・高等学校の家庭科教育～つながりを重視し, 実践的な態度を育成する食に関する学習指導の在り方～ 山本有佳子・五領弘子・山元有子 全国家庭科教育協会研究大会 2010年</li> <li>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を充実させるための工夫 平成15年度全国高等学校教育課程研究協議会 2003年</li> <li>・教員研修 鹿児島県総合教育センター短期研修(家庭科) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の指導の工夫 2018年 グループ学習の活用とその課題 2014年</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

寺師 美里 (TERASHI Misato)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	栄養科学修士
学位取得大学	中村学園大学大学院 栄養科学研究科
主な担当科目	給食経営管理論、調理学実験
専門分野	給食経営管理実習
主な研究テーマ	給食経営管理に関わる研究、生活習慣と腸内細菌叢との関連
学会・社会活動	日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本調理科学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・第7回アジア栄養士会議(the 7th Asian Congress of Dietetics: ACD2018)ポスター演題発表(2018)</li><li>・日本調理科学会 2019年大会「通所リハビリテーション施設に通う高齢者の食習慣と腸内細菌叢に関する断面調査」口頭発表(2019)</li></ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

真邊 久美 (MANABE Hisami)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	準学士
学位取得大学	鹿児島純心女子短期大学 専攻科
主な担当科目	調理学 調理学実習 I
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	高齢者におけるフレイル予防と栄養
学会・社会活動	<p>学会：日本栄養士会 日本臨床栄養代謝学会 日本病態栄養学会                  日本褥瘡学会 農村医学研修会 鹿児島糖尿病療養指導士会                  日本調理科学会 日本咀嚼学会 鹿児島調理研究会</p> <p>社会活動：ロコモ・フレイル予防啓発促進事業「調理実習研修会」講師 2020. 8. 12                  和泊町                  垂水元気プロジェクト「健康チェック報告会」講師                  2022. 3. 20 垂水市</p>
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女子生徒・学生における食生活習慣に関する研究」                      鹿児島純心女子短期大学 地域人間科学研究所 2003. 3</li> <li>・「PD 術後の困難を呈した患者に対するアプローチの1例」                      第29回食事療法学会発表 2009. 3. 6</li> <li>・「血管造影後の食事形態の検討」                      第37回九州代謝栄養研究会発表 2009. 3. 24</li> <li>・「骨折により褥瘡を形成した肥満女性の1例」                      第11回 日本褥瘡学会九州地方学術集会発表 2014. 5. 24</li> <li>・「NST 活動10年を経て」                      第31回 日本静脈経腸栄養学会発表 2016. 2. 25</li> <li>・「生活リズムが定まらない患者に対し、                      多職種介入で褥瘡改善へ繋がった1症例」                      第13回 日本褥瘡学会九州沖縄研究会発表 2017. 4. 29</li> <li>・「術後誤嚥性肺炎を発症し、多職種連携・院外スタッフを加えた連携にて                      改善へ繋がった1症例」                      第21回 日本病態栄養学会年次学術集会発表 2018. 1. 12</li> <li>・「大学生の親世代におけるメタボとフレイルの認識について」                      第41回 食事療法学会オンライン発表 2022. 3. 4~3. 13</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

久永 まゆみ (HISANAGA Mayumi)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	人間環境学修士
学位取得大学	福岡女子大学大学院人間環境学研究科
主な担当科目	解剖生理学実験、応用栄養学実習、食品加工学実習
専門分野	スポーツ栄養
主な研究テーマ	スポーツをする若年者の食事・栄養に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会 日本栄養・食糧学会 日本スポーツ栄養学会 日本栄養改善学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果 今村佳代子,林葉子,久永まゆみ,興野真由美 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.16 P53～60 (2012)</li> <li>・男子高校生における習慣的運動と食生活および食意識との関係 今村佳代子,久永まゆみ,染川真里佳,池田ちほみ,大小田桃子,野村佳代,和田麻希 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.22 P48～54 (2018) (学会発表)</li> <li>・女子体操部に所属する児童生徒における栄養摂取状況および食意識の現状 久永まゆみ,今村佳代子:日本スポーツ栄養学会 第2回大会 (2015)</li> <li>・男子バスケットボール部に所属する選手と保護者の食意識 久永まゆみ,今村佳代子:日本スポーツ栄養学会 第3回大会 (2016)</li> <li>・保護者の食意識の違いが高校男子バスケットボール選手の食意識および体格に与える影響 久永まゆみ,今村佳代子他:日本スポーツ栄養学会 第4回大会 (2017)</li> <li>・高校男子バスケットボール選手に対する増量を目的とした栄養サポート 久永まゆみ,今村佳代子他:日本スポーツ栄養学会 第5回大会 (2018)</li> </ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

南 勇真 (MINAMI Yuma)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

### 【学位・業績等】

有する学位	修士(理学)
学位取得大学	東京大学 大学院理学系研究科
主な担当科目	栄養学実験、生化学実験、食品学実験
専門分野	有機化学
主な研究テーマ	天然物化学、有機合成化学
学会・社会活動	日本気象予報士会
主な業績 (教育・研究等)	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>東京大学 ティーチングアシスタント</li></ul> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Master's thesis "Catalytic Transformation of Indoles in Water" Graduate School of Science, The University of Tokyo</li><li>"Enantioselective Protonation Reactions in Water toward Synthesis of Tryptophan Derivatives" 2019年3月、第99回日本化学会春季年会(甲南大学)、口頭発表</li></ul>

## 教員情報

令和5年5月1日現在

岩元 幸奈 (IWAMOTO Yukina)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

### 【学位・業績等】

有する学位	学士（栄養学）
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	給食経営管理実習、調理学実験、食品学実験
専門分野	給食経営管理論、調理学
主な研究テーマ	植物性食品の調理性
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
主な業績 （教育・研究等）	病院・施設における地域連携に必要な栄養管理情報の実態把握

## 教員情報

令和5年5月1日現在

上原 友香里 (UEHARA Yukari)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

### 【学位・業績等】

有する学位	学士（栄養学）
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	臨床栄養学実習 給食経営管理応用実習
専門分野	臨床栄養学
主な研究テーマ	高齢者の栄養問題について
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	

## 教員情報

令和5年5月1日現在

中山 真琴 (NAKAYAMA Makoto)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

### 【学位・業績等】

有する学位	学士 (栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	調理学実習
専門分野	調理学
主な研究テーマ	摂食嚥下困難者に対する食事
学会・社会活動	日本栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	運動による翌日の血糖上昇への影響